

BTU ANALYTICS の 2023 年見通し

[エネルギー](#)

ファクトセット リサーチ&インサイツ

シニアディレクター [Kathryn Downey Miller](#)

| 2023 年 1 月 6 日

BTU Analytics は最近、「[エネルギー市場インサイト](#)」、1 年間のエネルギーセクター全体にわたる分析について、全体像を詳しくまとめました。BTU Analytics では、今後 1 年間のエネルギー市場に影響を与えると予想される出来事とトレンドの 2023 年のプレビューを提供します。

原油・ガス

この 1 年間の[ヘンリー・ハブの見通し](#)で予測されてきたように、BTU Analytics では、天然ガスベンチマークが夏場に 3 ドル/MMBtu に近づき、2024 年まで弱含みで推移すると予想しています。供給面では、主にペルミアン盆地らの随伴ガスにより、米国のガス生産の堅調な伸びが続くと予測されます。需要面では、年末までに新規の LNG 輸出施設が稼働することはなく、コストが増加と景気後退懸念が高まるにつれて、産業用需要は緩やかなものになると思われる。このようなガスのファンダメンタルズとの乖離により、夏のピーク時にはガス貯蔵所の稼働率が過去最高となることが予想されます。また、2023 年に向けての世界の原油市場には大きな不確実性が存在します。BTU Analytics の最新[原油市場の見通し](#)ではこの不確実性を強調し、2023 年まで世界の液体燃料の収支はタイトになると予想しています。ロシアのウクライナ侵攻と、それに伴う欧米諸国によるロシアの生産量に対する制裁と価格制限によりロシアの生産量が減少し、世界の在庫を押し下げると考えられます。しかし、ロシアは中国とインドに買い手を見つけ続けているため、この減少のタイムラインはまだ流動的であり、また、中国の最近の COVID 政策の影響で経済的・医療的混乱に見舞われており、需要サイドの不確実性は高まり続けると考えられます。

電力

2022 年は、米国がインフレ抑制法（IRA）に署名し、エネルギー転換のアクセラレーターを踏み込んだ年として、今後何年にもわたって記憶されることになるでしょう。しかし、2022 年が IRA の制定として記憶されるのであれば、2023 年は電力市場内で勢いを維持させるための送電改革の年でなければなりません。送電線改革は昨年、ほぼ可決されましたが、頓挫しております。次期議会の主導権が分かっているため、より原油・ガスに優しい政策が提案される可能性が高いでしょう。しかし、煩雑な送電承認プロセスを改革する法案が可決されれば、自然エネルギーへの新たな投資が行われる可能性もあります。米国の送電網が分断されていることから、BTU Analytics では、内陸部の新規プロジェクトによって風力発電が東に移動し、西部および南西部のプロジェクトによって太陽光発電がカリフォルニア方面に移させると予想しています。新たな送電設備への投資は、石炭や天然ガスによる発電に逆風をもたらすため、米国が電力需要を満たすために再生可能エネルギーに大きく依存するようになる可能性があります。これは電力会社が ESG や脱炭素化の目標を達成するのに役立つかもしれませんが、2022 年に起こったように、ピーク需要時に送電網に大きな負担がかかる可能性もあります。

エネルギー転換

今年は、エネルギー転換を方向づける年になることが予想されます。IRA がきっかけとなり、炭素分離・隔離（CCS）分野のプロジェクトが数多く発表され、水素インフラにも関心が集まっています。BTU Analytics が追跡しているほとんどの CCS プロジェクトは、2024 年より前に稼働する予定はありません。つまり、2023 年は多くのプロジェクトで最終的な投資決定が下される年になると思われます。さらに、エネルギー省（DOE）は最近、米国の地域水素ハブのために用意された 80 億ドルの一部に対して提出された 79 のコンセプトペーパーのうち 33 に対し、補助金の本格申請するよう奨励したと発表しました。申請書の締め切りは 2023 年 4 月 7 日で、BTU Analytics は、承認される申請書は多岐にわたると予想しています。申請書が提出され、承認されれば、米国内の水素ハブの候補の形が見えてきます。

最後に

2022年はエネルギーセクターにかなりの変動がありましたが、2023年も同様の変動が起こりそうです。しかし、BTU Analyticsは今年の原油・ガス、電力・公益事業、およびエネルギー移行産業のトレンドについて、包括的なスルーラインを提供する洞察と分析を提供することを期待しています。当社が提供するエネルギー市場に関する詳細については、info@btuanalytics.comまでお問合せください。